

図書館だより

2024

6

特集

「古墳の世界」

一般展示

「エッセイを読む」

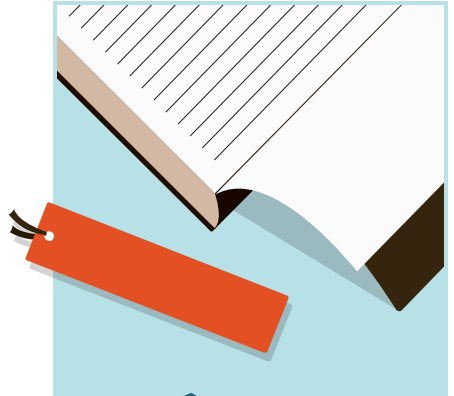
「日本の祭り」

YA 展示

「日々の幸せ」

新刊紹介

図書館員の本棚



古墳の世界



古墳とは、3世紀後半から7世紀頃につくられた各地の王など有力者たちの墓のこと。全国各地で、いまもなお発見され続けています。意外と身近な所にもあるんですよ。



『東京下町の前方後円墳 柴又八幡神社古墳』

〈シリーズ「遺跡を学ぶ」143〉

谷口 栄／著
新泉社 2020.3
請求記号：210.32 タ

2001年、柴又八幡神社古墳の調査で、帽子をかぶった埴輪が出土しました。その日は映画「男はつらいよ」で寅さんを演じた渥美清さんの命日でした。「寅さん埴輪」から、知られざる東京下町の古墳時代の歴史を紐解きます。

『東京古墳散歩』



まりこふん／文
ヨザワ マイ／漫画
徳間書店 2014.11
請求記号：213.6 マ

著者がめぐった東京に残っている素敵な古墳である「ワダ古墳」を中心に紹介しています。

『土偶手帖 おもしろ土偶と縄文世界遺産』



譽田 亜紀子／著
武藤 康弘／監修
世界文化社 2021.8
請求記号：210.2 コ

全国の個性豊かで面白い土偶を、50体紹介しています。ぜひお気に入りを見つけてみてください。

エッセイを読む

6月7日(金)～7月3日(水)

日常の出来事や自分の考えなど、作者の素直な感性で自由に執筆されたエッセイは、小説とはまた違った魅力があります。人気の名作から食や旅、自伝的なものまで幅広いジャンルから集めました。



『金曜日の本』

吉田 篤弘／著
中央公論新社 2017.11
請求記号：914.7 ヨシ

作者の子どもの頃の記憶が綴られたエッセイです。無口で本ばかり読んでいた少年が見た風景、伯父の影響のビートルズ、学校の図書室など、自分の「好き」を中心に心豊かに過ごしている姿が印象的です。

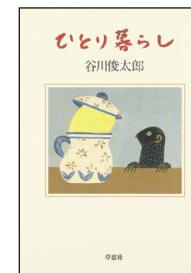
『ごはんのことばかり 100話とちょっと』



よしもと ばなな／著
朝日新聞出版 2009.12
請求記号：914.7 ヨシ

暮らしの中にあるごはんのエピソード集です。日々の食事を大切にしたいと思います。

『ひとり暮らし』



谷川 俊太郎／著
草思社 2001.12
請求記号：914.7 タニ

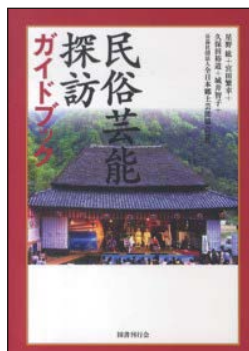
詩人・谷川俊太郎の日常がありのままに語られています。老いていくのも悪くないと思える1冊です。

日本の祭り

6月7日(金)～7月31日(水)

2022年「風流踊(ふりゅうおどり)」がユネスコ無形文化遺産に登録されました。

各地で受け継がれている民俗芸能、供養、祈願、厄災を祓うなどの「祭り」を知る本を紹介します。

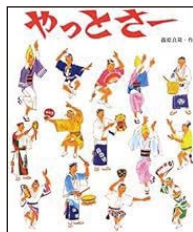


『民俗芸能探訪ガイドブック』

星野 紘／編
宮田 繁幸／編
久保田 裕道／編
城井 智子／編
全日本郷土芸能協会／編
国書刊行会 2013.9
請求記号：386 ホ

全国各地の民俗芸能が都道府県別に紹介されたガイドブックです。お出掛けの地域に、どんな芸能があるか調べられます。鑑賞の心得などの説明もあり、予習に最適な1冊です。

『やっどさー』



篠原 良隆／作
愛育社 2011.7
請求記号：EY7

お父さんと子どもが高円寺阿波踊りを見学する様子を描いた絵本です。

『岡本太郎と日本の祭り』



岡本 太郎／著
川崎市岡本太郎美術館／編
みうら じゅん [ほか] 寄稿
二玄社 2011.4
請求記号：386 カ

著者が祭りの中に入り込んで撮影した写真と祭りについて綴った1冊です。

YA

セングアダルト

展示

Check it

2階 YA コーナー

日々の幸せ

6月7日(金)～7月31日(水)

「しあわせだなあ」と感じられるのは、そんな大層な事柄ばかりではなく、日々のちょっとした喜びや楽しみの積み重ねなのです。幸せのヒントが本からみつければ幸いです。



『幸せな大人になれますか』

〈小学館 YouthBooks〉

前野 隆司／著
小学館 2022.10
請求記号：159 マ

きっと誰もが「私は幸せになれるの？」と考えることがあることでしょう。ひとりひとりが自分らしい幸せを感じられるよう導いてくれる1冊です。

『魔法のランプ』

幸せな人生を選択する方法』



松葉 健司／著
ライティング 2016.2
請求記号：913.6 マツ

一家に代々伝わる魔法のランプは本当に葵衣の願いを叶えてくれるのでしょうか？

『青い羊の丘』



竹下 文子／著
KADOKAWA 2011.7
請求記号：913.6 タケ

幻想的な挿絵と詩のようにゆったりと流れる文章が心を豊かにしてくれます。



『色鉛筆デッサンの技法書』

立体感・質感・陰影の基礎がロジカルにわかる』

河合 ひとみ／著

誠文堂新光社 2024.4

請求記号：725 カ

誰でも入手しやすい基本的な画材でありつつも、デッサンとは結びつきにくい色鉛筆。色鉛筆を使ったデッサンにおいて、陰影や質感を表現するテクニックを解説する。



『休むヒント。』

群像編集部／編

講談社 2024.4

請求記号：914.7 クン

休みなよって言われても、どうすればいい？ 働き方改革時代、ワークライフ“アン”バランスな人々へ贈る休み方の処方箋。伊沢拓司、角田光代、蓮實重彦、益田ミリなどのエッセイを収録。『群像』掲載に書き下ろしを加える。



『水族館飼育係だけが見られる世界』

毎日が発見と感動に満ちている』

下村 実／著

ナツメ社 2024.5

請求記号：480 シ

常務の指示でジンベエザメ捕獲へ。世界最小の魚を求めてジャングルへ……。水族館の飼育係として次々と舞い込むミッションをこなしてきた著者が、飼育係の日常と、生きものたちとの出会いや発見について語る。



図書館スタッフのおススメの本を紹介するコーナー

図書館員の本棚



『言語学バーリ・トゥード』

Round1 AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか』

川添 愛／著

東京大学出版会 2021.7

請求記号：801 カ

言語学と聞くとどのような印象を思い浮かべますか？ 海外の言語？ 文法の研究？ 今まで学んだことのない学問の本となると一歩踏みだすのに勇気がいります。私もそんな一人でしたが、この装丁とタイトルに目を奪われて手にとると、学問の本というお堅い印象はすぐに崩れ去り、まさに「バーリ・トゥード（なんでもあり）」な視点で語られることばの世界にのめりこんでしまいました。

タイトルにある、AIは「絶対に押すなよ」を理解できるか？ 有名なあの曲のタイトルにはこんな意味が込められているのでは？ など、言語学者である著者が身の回りの様々なことばに唱える論にはなるほど、とうならされます。短くまとめられた章が16章あるので、まずは気になるところから読み始めるのも手。文章自体ユーモアがあふれていてスラスラと読めてしまいます。小説以外の本にもたまには挑戦してみたい！という方におすすめです。



6月のカレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	 4	 5	6	7	8
9	10	 11	 12	13	14	15 一般映画会
16	17	 18	 19	20	21	22
23 30	24	 25	 26	27	28	29

: あかちゃんタイム
あかちゃんおはなし会

: おはなし会

詳細は
『なかよしつうしん』
をご覧ください。

開館時間

月～土 午前9時～午後8時

日・祝 午前9時～午後5時

休館日 第1・第3木曜日



一般映画会

『チャップリンの失恋』

『チャップリンの冒険』

(16ミリフィルム上映)

6月15日(土)

①午前10時～ ②午後2時～
定員30名(先着順)

詳しくは、図書館カレンダー、
図書館ホームページをご覧ください。

所在地

〒167-0051

杉並区荻窪3-40-23

☎ 03-3391-5754

公式HP



図書館だより

2024年6月1日

杉並区立中央図書館 発行